

交流1 総合的な学習の時間 (スキル科) 交流2

題名 地域のためにできること

めあて 地域で活動している方の思いを聞き、地域のためにできることを考えて行動しよう。

- 交流先** 【福祉】 悠々園
 【防災】 能ヶ谷町内会自主防災隊
 【自然 (川)】 真光寺川を清流にする会
 【自然 (山)】 能ヶ谷西緑地保全活動グループ 樹の会
 【鶴川】 鶴川地区協議会

2学期から始まるこの単元は、半年かけて子供たちが地域のためにできることを考え、企画、実行していくスキル科(総合)の活動です。子供たち自らが考えていくことを大切にを進めていくため、事前に担任の先生と活動の軸となるテーマを検討しています。今回は4グループ(途中で5グループへ変更)で活動できるよう上記の団体へ協力依頼をしました。

(昨年度の様子は、2023年3月号 NO.2へ!!)

地域で活動している方のお話を聞いてみよう

9/26 【防災】 能ヶ谷町内会自主防災隊
 【自然 (川)】 真光寺川を清流にする会

10/3 【福祉】 悠々園
 【自然 (山)】 能ヶ谷西緑地保全活動グループ 樹の会

最初に地域で活動している方たちのお話を聞きます。活動内容やその活動への思い、子供たちに期待することについて聞きました。子供たちは、それぞれの日にどちらかのお話を聞いて、ペアになった相手に伝えるという手法をとりました。そして、活動テーマを決めます。

どんなお話だったかな

普段の生活の中でできる生活防災を考えてほしい

【内容】 災害時の被害を軽減するためには、行政による「公助」にだけ頼らず、自分の身は自分で守る「自助」と、地域や身近な人同士が助け合う「共助」が大きな力になる。

【子供たちへ】 普段の生活の中でできる生活防災(ご近所とのあいさつ、安否確認、整理整頓、避難経路確認など)から取り組んでみませんか?



能ヶ谷町内会自主防災隊

地域みんなで川を綺麗にすることを考え続けたい

【内容】 悠々園にどのような方が入所しているのか、施設の特徴についてのご説明。また、鶴川地区で暮らすちょっとした支援が必要なたちがとても多く、これからも増えていくことが予想されます。

【子供たちへ】 そのような方たちにどういった取り組みができるか一緒に考えてみませんか。

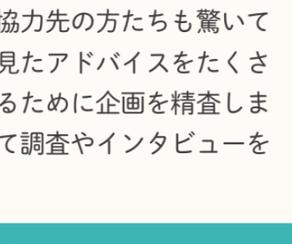
【活動内容】 真光寺川周辺の住宅増加に伴う治水により大きな残念な変化もありました。そこで親しみのある綺麗な川にしようと2000年ごろの会が発足。以来、清掃活動、川まつり、近隣の学校への授業協力を行っています。

【子供たちへ】 川を綺麗にするため、川に親しんでもらうためにどうしたらよいと思いますか?

地域にも支援が必要な人がいるんです

【内容】 悠々園にどのような方が入所しているのか、施設の特徴についてのご説明。また、鶴川地区で暮らすちょっとした支援が必要なたちがとても多く、これからも増えていくことが予想されます。

【子供たちへ】 そのような方たちにどういった取り組みができるか一緒に考えてみませんか。



悠々園・鶴川地域の支援

西緑地に遊びにきてほしい・活動に参加してほしい

【内容】 悠々園にどのような方が入所しているのか、施設の特徴についてのご説明。また、鶴川地区で暮らすちょっとした支援が必要なたちがとても多く、これからも増えていくことが予想されます。

【子供たちへ】 そのような方たちにどういった取り組みができるか一緒に考えてみませんか。

【活動内容】 西緑地の整備作業と自然でとれたものを使った手しごとの会を実施。自然に手を加えず、小道の維持、危険な倒木の処理や「なら枯れ病」の対策を市と連携して実施。自然を感じられる気持ちのよい場所作りを目指しています。

【子供たちへ】 西緑地の自然を体験し、たくさん遊んでほしいです。よかつたらお手伝いにもきてね!

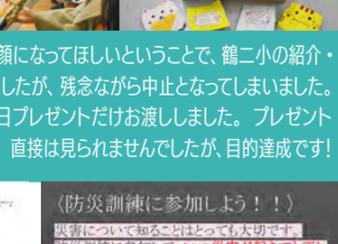
12月~2月 企画書にアドバイスをもらって内容を見直そう

自分の活動テーマを決めたあと、一人一人が自分にできることを考えて企画書を作成しました。そして、それを協力先の方たちに見ていただきます。現状分析、目的、企画のタイトル、活動内容と想定される効果などが書き込まれた熱意ある企画書には、協力先の方たちも驚いていました。そして大人の目線を見たアドバイスをたくさんいただき、グループで活動するために企画を精査しました。また、実際に現地に行き調査やインタビューを行いました。

EPISODE



川に落ちているゴミ調査



悠々園見学



真光寺川を清流にする会の方へインタビュー



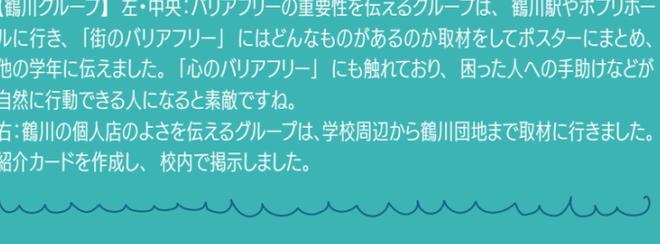
西緑地で注意することを調査

3/7 活動報告

保護者にご協力いただいた方たちに、各グループが実施した活動の報告会を行いました。取り組んだ経緯やプランの説明、その効果と実際にやってみて分かったことなどをスライドを使って発表しました。

頭で考えるだけでなく、アドバイスをいただいたこと、調査や取材をしたことで、何度も調整をして実施することができたのは、ご協力いただいたみなさまのおかげでもあります。今後も子供たちが地域にかかわりを持つことを続けていってほしいです。

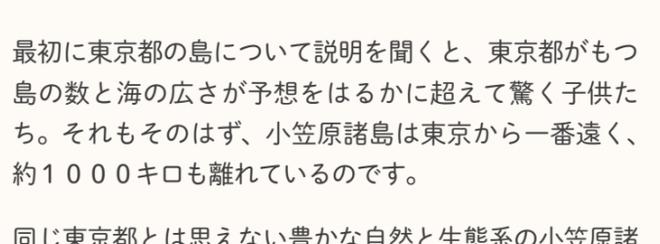
実施内容と発表



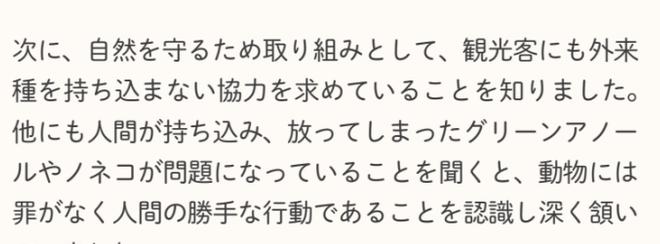
【悠々園グループ】 悠々園の利用者の方に笑顔になってほしいということで、鶴二小の紹介・劇・クイズ・エイサー・プレゼントを考えていましたが、残念ながら中止となってしまいました。たくさんリハーサルをしたのに残念です。後日プレゼントだけお渡ししました。プレゼントのかわいらしさに笑顔が溢れていたとのこと。直接は見られませんが、目的達成です!



【防災グループ】 防災に興味を持つ人が増えて、災害による被害が少なくなることを目標とするグループです。災害時の行動、災害への備えや防災訓練に参加することの大切さをポスターにして校内に掲示しました。3年生と5年生には、発表をしてそれらの重要性を伝えました。他にもクラス限定公開でしたが、防災クイズをScratchで作成もしました。



【真光寺川グループ】 真光寺川をもっときれいになりたいという思いから、ゴミ拾いをしながら調査をしました。それを基に、標語を作ったり、集計してそのゴミが多く落ちている場所を示したポスターを作成したりしました。川沿いに掲示する予定です(3/26現在)。



【西緑地グループ】 西緑地調査の際に(少しだけ)遊んでその楽しさを体験した子供たち。そのよさを知ってもらうために、ポスターと新聞を作成して、校内に掲示しました。また遊びにくる人たちのために、その魅力をガイドマップ、危険な場所をポスターにしました。西緑地内に掲示する予定です(3/26現在)。



【鶴川グループ】 左・中央:バリアフリーの重要性を伝えるグループは、鶴川駅やポプリホールに行き、「街のバリアフリー」にはどんなものがあるのか取材をしてポスターにまとめ、他の学年に伝えました。「心のバリアフリー」にも触れており、困った人への手助けなどが自然に行動できる人になると素敵ですね。右:鶴川の個人店のよさを伝えるグループは、学校周辺から鶴川団地まで取材に行きました。紹介カードを作成し、校内で掲示しました。

交流1 交流2 社会科 1月15日(月)

題名 豊かな自然環境を守り生かす小笠原

めあて 小笠原村にはどのような特色があるのか聞いてみよう。

ゲストティーチャー /



ゲストティーチャーはどなた?
 ▶お子様へ聞く
 ぎっさん

小笠原村観光局の方から、小笠原村の魅力とその特色について教わりました。(昨年度より実施)

最初に東京都の島について説明を聞くと、東京都がもつ島の数と海の広さが予想をはるかに超えて驚く子供たち。それもそのはず、小笠原諸島は東京から一番遠く、約1000キロも離れているのです。

同じ東京都とは思えない豊かな自然と生態系的小笠原諸島は、2011年に世界自然遺産に登録されています。その理由がカタツムリの適応放散による固有種の多さなのです。(世界の固有種のうち94%が小笠原固有種)小さいカタツムリ、殻が必要なくなったカタツムリ、ひらべったいカタツムリと、住む場所によって適応していくように、興味津々で聞き入っていました。

次に、自然を守るため取り組みとして、観光客にも外来種を持ち込まない協力を求めていることを知りました。他にも人間が持ち込み、放ってしまったグリーンアノールやネコが問題になっていることを聞くと、動物には罪がなく人間の勝手な行動であることを認識し深く頷いていました。

日本で初めてエコツーリズムを行ったのが小笠原です。今日教えてもらった小笠原固有の魅力や家族に伝えることもその活動のひとつです。小笠原村観光局鶴川第二小学校支部のメンバーとなった子供たちは、いつか行ってみたいと目を輝かせていました。

EPISODE

質問タイムでは、小笠原の食べ物についての質問がたくさんあがっていました。ウミガメを食べる風習に驚きながらも理由を聞いて納得したり、トマトがいちご並みに甘いことに羨む声があがったり、都心との違いをとて興味深く感じていたようです。

ガイドマップが東京都庁に出展されました

小笠原村観光局が毎年3月に参加している、令和5年度 東京観光情報センター東京都庁「区市町村PRスペース」に4年生の作成した力作のガイドマップが掲示されました。

出展期間:2024年3月17日(日)~3月31日(日)